

清水町下水道事業経営戦略(令和8年度見直し)概要版(農集)
計画期間:令和8年度~令和17年度

7. 収支見通~現行の使用料水準を維持する場合~

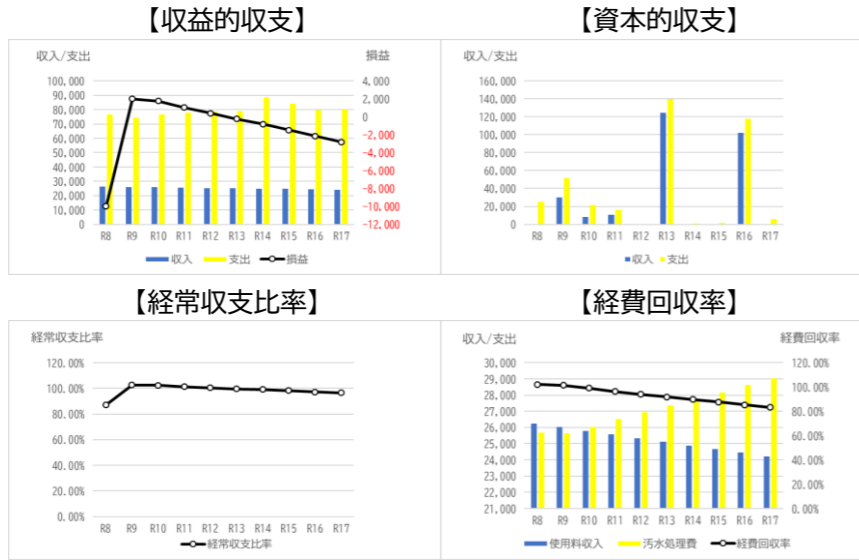
■収支見通
今後の収支見通は以下の通りです。

■収益的収支
令和17年度には令和6年度と比較して、約2百万円の減少。
令和8年度及び令和13年度以降に赤字決算となる。

■資本的収支
企業債償還に対して発行が上回り、企業債残高は計画期間内で約61百万円の増加。

■経常収支比率
令和8年度及び令和13年度以降に100%を下回り、令和17年度には96.48%の予測。

■経費回収率
令和12年度(中間値)は94.05%、令和17年度(目標値)では83.36%の予測。



現行の使用料水準を維持する場合、令和8年度及び令和13年度以降に赤字決算となり、経営目標の経常収支比率を達成するのは困難。使用料改定の検討が必要。

8. 収支見通~令和13年度に使用料10%の改定を行う場合~

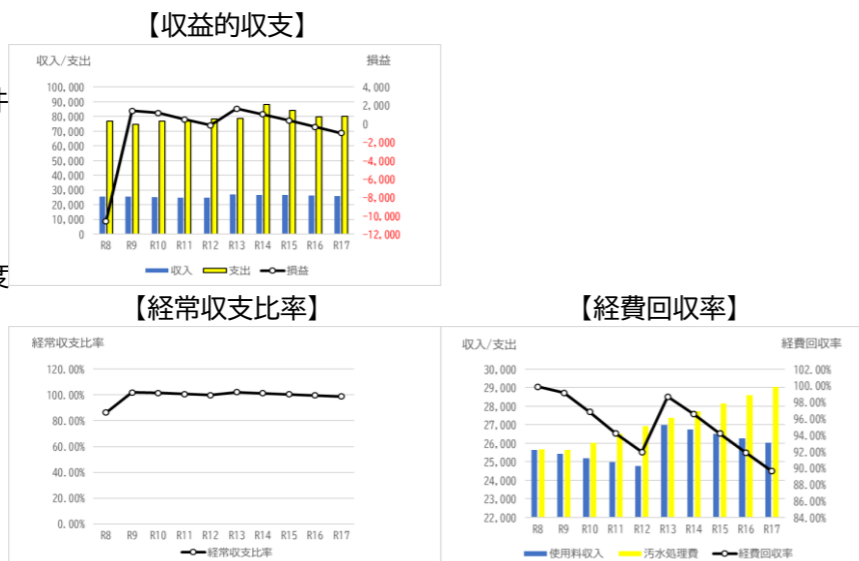
■収支見通
今後の収支見通は以下の通りです。

なお、使用料収入以外は現行の使用料水準を維持する場合と同条件とします。

■収益的収支
使用料改定により、一時経営状況は回復するが、令和16年度以降に再度赤字決算となる。

■経常収支比率
令和17年度には98.75%の予測。

■経費回収率
令和12年度(中間値)は91.93%、令和17年度(目標値)では89.63%の予測。



上記の推計パターンの場合、令和17年度目標の経常収支比率は中間値99.79%、目標値98.75%。経常収支比率を達成するのは困難。計画期間内での収支均衡が難しい予測。

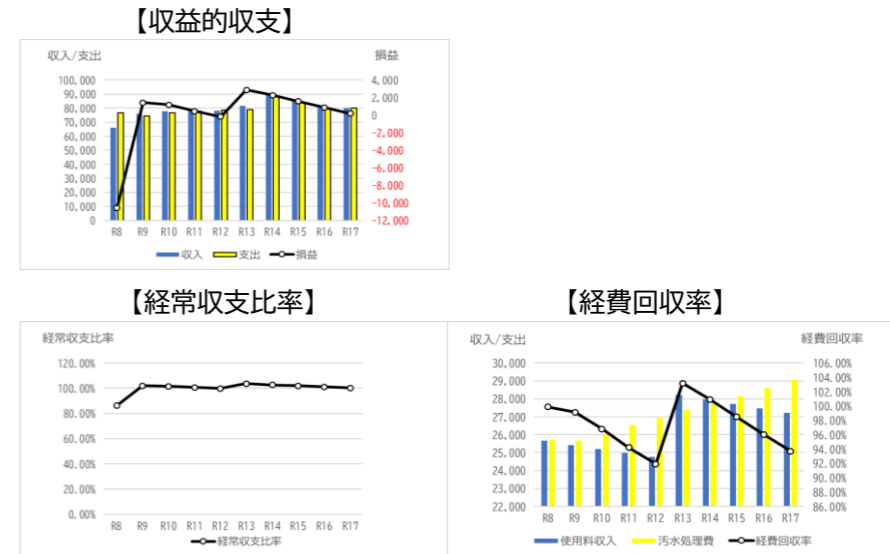
9. 収支見通~令和13年度に使用料15%の改定を行う場合~

■収支見通
今後の収支見通は以下の通りです。

■収益的収支
使用料改定により、経営状況は回復し令和13年度以降、黒字決算となる。

■経常収支比率
令和12年度(中間値)は99.79%、令和17年度(目標値)では100.23%の予測。

■経費回収率
令和12年度(中間値)は91.93%、令和17年度(目標値)では93.71%の予測。



年度	経常収支比率	経費回収率
令和6年度	現状値: 97.55%	現状値: 57.78%
令和12年度	中間値: 99.79%	中間値: 91.93%
令和17年度	目標値: 100.23%	目標値: 93.71%

上記のパターンで使用料改定を実施する場合、計画期間内収支均衡となる。令和17年度目標の経常収支比率は以下の通り。経常収支比率:100.23%。経営の基本方針及び目標達成の為、本戦略では上記の推計パターンで戦略を推進していく。

10. 事後検証、改定等に関する事項

■事後検証、改定等に関する事項

本戦略の次回以降の見直しについては、料金の妥当性の検証及び検討や投資計画の進捗等、経営の変化にあわせて、2030(令和12)年度から定期的に行います。

また見直し及び検討にあたっては、清水町使用料等審議会への意見を求めます。改定後は広く町民等へ公表することとします。

年度	2026 (令和8)	2027 (令和9)	2028 (令和10)	2029 (令和11)	2030 (令和12)	2031 (令和13)	2032 (令和14)	2033 (令和15)	2034 (令和16)	2035 (令和17)
経営戦略					改定					改定
使用料			検討		検討	改定予定	効果検証		検討	

